

「菩提山城跡の総合調査について」

垂井町教育委員会
亀田剛広

1 はじめに(菩提山城とは)

- ・伊吹山系東端 垂井町の北西部に位置する菩提山山頂(標高403m)
- ・東西約 150m、南北約 300m…「西濃地域最大級の山城」
- ・抜群の眺望、交通の要衝、東西、近江美濃国の境界…「境目の城」
- ・「秀吉の軍師 竹中半兵衛の城」

2 これまでの調査経緯

- 昭和32年(1957) 町史跡に指定
- 昭和55年(1980) 測量調査 菩提山城跡測量調査委員会
- 平成14年(2002) 岐阜県中世城館跡総合調査
- 令和5年(2023) 国史跡を目指して「総合調査検討委員会」を設置
- 令和6年(2024) 発掘調査

3 菩提山城の歴史

○天文13年(1544)?

- ・『岩手文書』美濃国守護 土岐頼芸→岩手四郎【菩提山城初見】

「菩提山之儀申出之處即時令入城之由注進候、尤神妙候、江南北へ令堅約之条、切々時
者彼方へ可申談候、斎藤左近大夫かたへも、堅申付候、要害之事、無由断可申付候、儀
管要候、猶稻葉右京方可申候、恐々謹言」

…美濃国守護土岐氏から菩提山城の防備命令→城を管理する役割を担っていた?

※岩手氏

- ・現在の垂井町岩手地域を本拠とした在地領主、15世紀初め頃から史料に登場
- ・近江の六角氏と関係が深い→美濃・近江の国境の在地領主として存在感

○永禄元年(1558)『竹中家譜』

- ・大野郡大御堂城主 竹中重元、重治(半兵衛)が岩手氏を追放し、岩手一帯を領有

○永禄2年(1559)『竹中家譜』『竹中雜事記』

・重元、重治が菩提山に城を築く。山麓【居館】、山上【詰城(菩提山城)】

○永禄5年(1562) 重元没し、半兵衛が家督を継ぐ

○天正7年(1579) 半兵衛、播磨三木陣中で没す

○天正16年(1588) 半兵衛の息子、重門が家督を継ぐ

…天文13年(1544)以前に築城、永禄元年(1558)頃 岩手氏→竹中氏

4 縄張構造

・二重構造の複雑な虎口、竪堀群と横堀、堀切が複雑に組み合わせられるなど戦国期後半の最も発達した構造の城郭として評価

・西側の尾根筋に長大な堀切、畝状竪堀→西側(近江側)を意識

・尾根筋末端に削平の緩い平坦面

…中心部(主郭、出曲輪等)と末端部の時期が異なる?

5 発掘調査

【調査期間】 令和6年9月～12月

【調査箇所】・通称「台所曲輪」(約60㎡) 1号、2号トレンチ

・主郭(約70㎡) 3号、4号トレンチ

(1) 台所曲輪

…曲輪造成の状況を確認

・曲輪入口部分に岩盤を利用した土塁を構築

・平坦部は土と礫を入れて造成、斜面部も造成土で拡張

(2) 主郭

…①3時期の遺構面(造成面)を確認

・出土遺物等から、最下層面は岩手氏の時期(16世紀中頃)

・第2、3面が 竹中氏以降の時期(16世紀後半頃)である可能性が高い

・特に第2面は大規模に造成が行われている

…②礎石建物跡を確認(10基の礎石を確認)

・礎石は、第2面に据えられており、竹中氏によって築かれたものと考えられる

・礎石の規模や広がりから、櫓や蔵ではなく、山上の居住施設の中心的な建物(御殿)であった可能性が高い

(3) 約250点の遺物が出土

・かわらけ(素焼きの皿)、国産陶器(天目茶碗、播鉢)、中国産陶磁器(染付、白磁、青磁、華南^{なんなんさい}三彩)、土^ど錘(土製の漁網の重り)、鉄製品(刀剣、鉄釘)、瓦、古銭、砥石などを確認

・岩手氏段階の遺物が多い

(4) まとめ

- ・菩提山城が竹中半兵衛の時期頃に大規模な造成によって造られたもの
- ・礎石建物を伴う山上御殿の存在
- ・文献史料で従来から考えられていた岩手氏→竹中氏という城の変遷

【課題】

※竹中氏期(16世紀後半)の遺物の少なさ(常在性)

…『竹中家雑事記』

「重元重治迄は岩手西福村に居住有而、城には屋形斗有之、騒動之時に取登防の心得にいたしたる城なり」

※岩手氏期の遺構

※第3造成面(重門段階の造成?)

※居住施設と軍事施設との関係は?併存するのか?

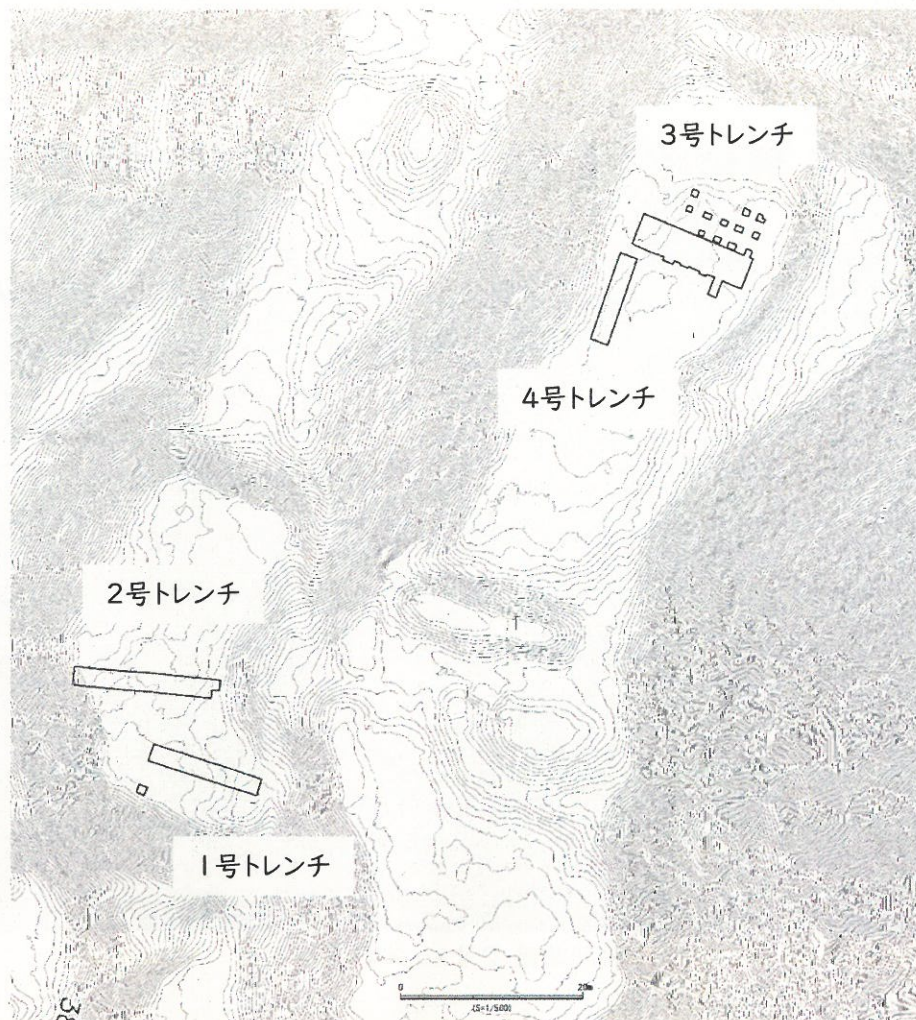
5 おわりに

【菩提山城跡関係年表】

応仁元年(1467)	岩手孫四郎に土岐成頼から感状
天文4年(1535)	岩手弾正忠へ六角定頼から書状
天文13年(1544)	竹中半兵衛重治、大御堂城主 竹中重元の子として生まれる。
天文13年(1544)	美濃国守護土岐頼芸が岩手弾正に書状を出す(菩提山城初見)
永禄元年(1558)	重元、重治が不破郡の岩手氏を攻め、岩手一帯を領有する。
永禄2年(1559)	重元、重治が菩提山に城を築く。安ハ西保城主、不破光治の襲撃を撃退する。
永禄5年(1562)	重元没し、半兵衛が家督を継ぐ。
永禄7年(1564)	半兵衛、稲葉山城を奪取
天正7年(1579)	半兵衛、播磨三木陣中で没す。
天正16年(1588)	半兵衛の息子、重門が家督を継ぐ。
慶長5年(1600)	関ヶ原合戦
江戸時代前半頃	廃城?



菩提山城赤色立体图



発掘調査トレンチ配置図



台所曲輪 1号トレンチ 東北から



台所曲輪 2号トレンチ 東から



台所曲輪 2号トレンチ 斜面部 北西から



主郭 3号トレンチ 東から



主郭 3号トレンチ平面図